

栄東まちづくり協議会を構成する地域団体

栄東まちづくりの会

2003(平成15)年に設立

「楽しいまち、住みよいまち、住みたくなるまち」を信条として、明るく安全で地域の温かさを感じる、まちづくり活動を行う、栄東発展会、(一社)栄東女子大小路ビル協会の2団体を基に、活動に参加できる団体又は個人が構成する団体



栄東まちづくりの会 ウェブサイト

<https://sakaehigashi.jp/main/>

栄東発展会

1959(昭和34)年に設立

地域住民の親睦を図り、安心で住みよいまちづくりを目指す、栄東地域の12の町内会で構成する団体

構成町内会

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ▪ 南武平町北部町内会 | ▪ 南武平町南部町内会 | ▪ 南久屋町内会 |
| ▪ 月見町内会 | ▪ 新栄西部町内会 | ▪ 宮出町西部町内会 |
| ▪ 西瓦町発展会 | ▪ 老松第二町内会 | ▪ 老松第三町内会 |
| ▪ 老松第四町内会 | ▪ 老松第五町内会 | ▪ 老松第六・七町内会 |



栄東発展会 ウェブサイト

<https://www.sakaehigashi.net/>

(一社)栄東女子大小路ビル協会

前身の「栄レジャービル協会」が1976(昭和51)年に設立され、2017(平成29)年に一般社団法人格取得と同時に栄東女子大小路ビル協会に改名

地域社会の発展に積極的に貢献できる活動に加え、会員相互の親睦、生活向上、安全・品質の絶えざる向上に向けた様々な活動を展開する、女子大小路のある商業地区のビルオーナー、管理者及びテナントを会員とする事業者の団体



(一社)栄東女子大小路ビル協会 ウェブサイト

<http://joshidaikoji.nagoya/>

栄東まちづくり協議会

〒460-0008 名古屋市中区栄5-19-4 K-POINTビル202号室

TEL/FAX 052-265-9332

<http://www.sakaehigashi-mky.jp/>



2023年3月発行

栄東まちづくり協議会

～これまで、これからの栄東について～



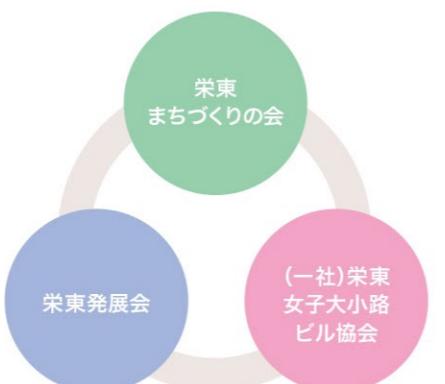
#Sakaehigashi

SAKAEHIGASHI TOWN DEVELOPMENT CONFERENCE

栄東まちづくり協議会とは？

住民と行政との協働によるまちづくり事業

名古屋市中区栄4丁目及び5丁目を中心とした「栄東地域」の環境整備に関するまちづくり事業を企画及び実施することを目的として設立されました。協議会を構成する3団体と互いに助け合い、協力し合いながら、地域の個性や特色を生かしたまちづくりを推進します。



事業

- ・栄東地域の魅力づくり・にぎわいづくり
- ・暮らしやすい地域づくり
- ・これらの目的を達成するために必要な事業

主な事業

防犯事業 / 防災事業 / 環境美化事業 / 街路灯整備事業 / 公園整備・活用事業 / 道路空間整備検討事業 / 多文化共生事業 / 地域活性化事業 / 調査研究事業 / 広報事業

財源

栄東まち活性化事業補助金

栄東まち活性化事業補助金とは？

競艇を実行する自治体から名古屋市に支払われる「環境整備協力費（ミニポートピア栄の売上の1%）」が、名古屋市より栄東地域に「栄東まち活性化事業補助金」として毎年度交付される補助金です。

組織

役員

- ・会長1名
- ・副会長3名（うち1名は名古屋市中区区政部長）

委員

<地域>

- ・栄東まちづくりの会
- ・栄東発展会
- ・一般社団法人栄東女子大小路ビル協会
- ・ミニポートピア栄設置町内会

<名古屋市>

- ・総務局総合調整部総合調整室長
- ・スポーツ市民局地域振興部地域振興課長
- ・住宅都市局リニア関連都心開発部主幹（栄）
- ・緑政土木局中土木事務所長
- ・中区区政部長
- ・中区区政部地域力推進室長

栄東ってこんな街！

栄4丁目（最寄駅「地下鉄栄駅」。名古屋市中区役所や中日ビルがある）と栄5丁目（最寄駅「地下鉄矢場町駅」）であり、広小路通、国道41号線（空港線）、若宮大通、久屋大通に囲まれた地域のこと



栄東まちづくり協議会の主な取り組み。

魅力づくり・
にぎわいづくり

地域活性化事業



池田公園夏まつり

お子さんから大人まで楽しめる栄東地域の一大イベントとして、毎年7月に池田公園で実施し、地域の様々な団体・個人が出演するステージや、手作りの焼きそば・焼き鳥などの屋台、お子さんに人気のゲームコーナー、フィリピンなど外国文化の紹介・体験コーナーなど、毎年工夫を凝らした栄東らしいブースの出店と、誰でも参加できる盆踊りで地域が盛り上がります。当協議会設立以前から地域主体で実施されているお祭りで、2019年度に第50回を迎ました。



イルミネーション装飾・点灯イベント

冬季のにぎわいづくりや栄周辺の誘客促進のため、池田公園内の樹木と池田公園へつながる東栄通と瓦通の歩道の街路灯にイルミネーション装飾を設置し、毎年11月から2月の期間に点灯しています。点灯開始に合わせ、11月には池田公園で点灯セレモニー・演劇、多国籍の音楽ステージ、ワインパーティー、お子さんも楽しめるクリスマスツリーデコレーションコンペやミニ運動会など、魅力あふれる点灯イベントを実施しています。



多文化共生事業

相談事業

外国にルーツがある住民（以下「外国人住民」という。）も暮らしやすい環境づくりのため、中国語・タガログ語・ネパール語・ベトナム語・英語・ポルトガル語・スペイン語など多言語での無料相談対応を実施しています。



外国人住民参画イベント・勉強会

異文化理解と相互交流の促進のため、花見バーベキュー・ゆかたの着付け体験、盆踊り体験、バスケットボール大会などを実施しています。また、フィリピンの法律や日本の税制、メンタルヘルス、外国人住民を取り巻く環境などについての勉強会を実施し、知識習得と相互理解を促進する取り組みを進めています。



栄東まちづくり協議会の主な取り組み

防犯事業



防犯カメラの設置・運用

地域の防犯力向上のため、防犯カメラを栄東地域の街路灯と電柱に計53台設置(2022年3月時点)し運用しています。また、警察への捜査協力として、画像閲覧及びデータ提供を行っています。

防災事業



防災・防犯講習会

住民と事業者が共に防災と防犯について楽しく学び、地域の防災・防犯力を向上させるため、毎年2月に名古屋市中区役所ホールなどで名古屋市中消防署・愛知県中警察署による講習や、分かりやすい寸劇や防犯教室など、楽しく学べる講習会を実施しています。

環境美化事業



落書き消し活動

地域の環境美化のため、栄東地域でビルの壁面などの落書き消し・ペンキ塗り・いたずらシール剥がしを定期的に実施しています。



ゴミ・カラス対策

清潔で美しい環境づくりのため、地域のゴミの出し方やカラス被害の調査を実施し、ゴミ出しルールやカラス対策の啓発資料の作成・配布やカラスよけのダミーカラスの設置を実施しています。また、ゴミ出しルールやカラス対策の徹底が必要な建物に対し、カラス対策が施されたゴミ箱などの設置の働きかけを継続しています。

防災事業



防災訓練

住民と事業者が共に防災について学び、災害対応能力を高めるため、毎年10月に池田公園でシェイクアウト訓練やはしご車による救出訓練、消火訓練、煙道体験、起震車による地震体験、炊き出し訓練、簡易水のう作り体験、水を使わないトイレの使い方体験など、いざという時に役に立つ訓練・体験を実施しています。



防災器具庫の設置

住民の自主防災活動を支援するため、池田公園に防災器具庫を設置し、防災活動や災害時の応急対応に必要な資材などを保管しています。

街路灯整備事業



街路灯の更新・新設

夜間も明るく、安心して暮らせる環境づくりのため、地域を中心設置後、老朽化が進む300本以上の街路灯の建て替えを計画的に進め、全街路灯の一元管理・維持管理を実施しています。また、歩道がなく、街路灯のポールが設置できない地区では電柱に街路灯を設置しています。



池田公園トイレのリノベーション

誰でも利用しやすく、親しみが感じられる公園トイレとするため、栄東地域の多様さ・寛容さを曲線で表現し、水が美しく流れるイメージの青色タイルを施したトイレへ建て替え、旧中日ビルにあったモザイクタイル『夜空の饗宴（きょうえん）：矢橋六郎作』の一部を多目的トイレの天井に移設するなど、リノベーションに取り組んでいます。

栄東まちづくり協議会 事業実績

2015(平成 27)年度 9月 30日 「栄東まちづくり協議会」設立
12月 24日 栄4丁目で「ミニポートピア栄」営業開始



2016(平成 28)年度 「栄東まちづくり協議会事務局」立ち上げ
2017 年度からの事業本格始動のために、住民・事業者・就労者・来訪者を対象としたアンケート調査とワークショップを実施

暮らしやすい 地域づくり	防犯事業		防災事業		
	防犯カメラ整備	防災訓練	防災・防犯講習会	その他	
2017(平成 29)年度	栄5丁目に設置	池田公園で実施	ナディアパークで実施		
2018(平成 30)年度	住宅侵入盗などの対策チラシ作成		中区役所ホールで実施		
2019(令和 1)年度					
2020(令和 2)年度		コロナ禍のため動画配信	コロナ禍のため動画配信		
2021(令和 3)年度	栄4丁目に設置		防災器具庫の建て替え AED 講習会実施		
2022(令和 4)年度		池田公園で実施	中区役所ホールで実施		

暮らしやすい 地域づくり	環境美化事業		街路灯整備事業	公園整備・活用事業	
	落書き消し活動	ゴミ・カラス対策		池田公園	児童遊園地
2017(平成 29)年度			街路灯の更新・新設	公園再整備の検討	
2018(平成 30)年度	実施	ゴミの出し方調査		フェンスの改修 散水栓の設置	
2019(令和 1)年度		カラス被害調査 啓発チラシ作成		公園灯の設置	
2020(令和 2)年度	コロナ禍のため 中止	ダミーのカラス 設置		トイレの建て替え	
2021(令和 3)年度				中日ビルの モザイクタイルを トイレへ移設	
2022(令和 4)年度	再開	カラス被害調査 啓発チラシ作成		植栽の整備	

暮らしやすい 地域づくり	道路空間整備検討事業	多文化共生事業	
		相談事業	勉強会・交流イベント
2017(平成 29)年度	栄4丁目で歩行者天国実施		花見 BBQ 浴衣着付け、盆踊り体験実施
2018(平成 30)年度		フィリピン人対象の相談開始	フィリピン法・ 日本の税制度の 勉強会実施
2019(令和 1)年度	駐輪場設置の検討		メンタルヘルスの 勉強会実施
2020(令和 2)年度		フィリピン人以外の 多言語相談開始	コロナ禍のため 中止
2021(令和 3)年度		広報チラシ作成	
2022(令和 4)年度	駐輪場有料化の講習会実施	広報カード作成	外国人相談の勉強会実施

魅力づくり・ にぎわいづくり	地域活性化事業				調査研究事業	広報事業
	夏まつり	イルミネーション 点灯イベント	イルミネーション 装飾	公衆無線 LAN		
2017(平成 29)年度	池田公園で実施	池田公園で実施	池田公園と 東栄通・瓦通に 設置	栄4丁目に設置	栄東地域の 基礎調査実施	広報掲示板の 設置
2018(平成 30)年度	同女子 同時 実地 蔵祭 も				まちづくり ビジョンの ワークショップ 実施	
2019(令和 1)年度	第50回目を 迎える	同女子 同時 実地 蔵祭 も			他都市の 調査実施	夏まつりの 記念誌制作
2020(令和 2)年度	コロナ禍のため 中止	コロナ禍のため 中止			コロナ禍のため 中止	工事中の日ビル 仮囲いに イルミネーション 広告掲出
2021(令和 3)年度			東栄通・瓦通の 装飾リニューアル	運用終了	コロナ禍のため 中止	
2022(令和 4)年度	池田公園で再開	池田公園で再開	池田公園の 装飾リニューアル		まちづくりビジョンの 講習会実施	協議会 パンフレット制作



会長
田端 龍
(栄東まちづくりの会 会長)

副会長
加藤 哲征
(栄東発展会 会長)

副会長
野田 剛司
(栄東女子大小路ビル協会 会長)

田端会長:栄東まちづくり協議会も、設立から7年の月日が経ちましたね。協議会を構成する団体は地域の町内会が集まつた栄東発展会と、ビルオーナーなど事業者が集まつた栄東女子大小路ビル協会、そしてその2団体を巻きこんだ栄東まちづくりの会があり、様々な人が関わり、地域を盛り上げようと活動してきました。

思えば、これまで本当にいろいろなことがありました。私が地域活動に参加する以前から、地域で池田公園をリニューアルしたり、交番を設けたり、かつてのマイナスなイメージを払拭して「安心・安全な街」としての土台を先代の皆さんのが作ってくださいました。

中でも、池田公園の夏まつりは今年（2023年）で52回目を数えます。半世紀以上にわたり地域の方々に長く愛されてきたと思うと、とても感慨深いですね。今では、池田公園を地域の情報発信の場としてさまざまなものに利用しています。昨今のコロナ禍の事情もあり、2021年には7~8件しかできなかった

イベントが、翌年（2022年）には40件以上もできるようになりました。冬のイルミネーションも素晴らしいですね。街の活気も戻りつつあると思います。

野田副会長:それと並行して、防犯面で見ても様々な取り組みがなされましたね。屋台の出店者に対して個人情報が分かるようにIDカードを発行したり、お揃いのTシャツを着用して来場者と主催者が一目で分かるようにしたり、食中毒が発生しないようメニューそのものを工夫してもらったり、もちろん、コロナ対策にも気を配りました。また、街全体としては、街路灯を設置するなどしてハード面での防犯対策を行いました。

「安心・安全な街」として、訪れる人だけでなく、実行する私たちも安心・安全でいられるような取り組みを、私たち自身も楽ししながら行ってきましたね。

加藤副会長:これまで開催てきて、楽しかったイベント、思い出に残っている行事などはありますか？

野田副会長:そうですね、どれも思い出深いですが…。ユニークなコピーバンドのコンテストや、有名な歌手の方やマジシャンのステージはとても印象に残っていますね！海外旅行を景品にしたり、なにかと景気のいい時代でした。

田端会長:女子大小路の名前を一般公募したこともありましたね。皆さんのおかげで「栄ウォーク街」という素敵なものになりました。なにをやるにしても、地域での合意形成が重要だったように思います。

加藤副会長:私たちの活動は全て、地域の方々のご協力があったからこそですね。特に中区は、名古屋市でも屈指の転入・転出が多い街ですし、地域のつながりが希薄になりやすいとも言われてきました。そんな中でも、私たちと一緒に栄東の街を盛り上げてくれるボランティアの方々が多くいらっしゃることには、深く感謝しております。長く続いている方は皆さん楽しみながら参加してくださって、本当にありがとうございます。

私たちとしても、栄東まちづくりの会、栄東女子大小路ビル協会、栄東発展会の3団体が一体となり、同じ方向を向いて地域を盛り上げていかねばならないと感じています。まちづくりに携わるメンバーの高齢化や世代交代の観点から見ても、私たちが楽しみながらやっている姿を見せつつ、若い世代の方にも積極的に声をかけながら、仲間を増やしていくべきです。そして、その段階で、きっとまたこの街は少しずつ変わっていくのでしょうか。

野田副会長:3団体があることを生かして、それぞれの立場を理解しながら、団体の枠を超えてみんなで話し合うことも大切だと思います。団体は分かれても、地域は一つですからね。

加藤副会長:もっと言えば、栄東は年齢や世代だけでなく、言葉や文化も多様な人々が集まる街ですよね。生活リズムも違うし、働く時間帯も違う。経営者もいれば労働者もいます。そういう方々の多様な意見を集約するときに、しっかりとまとめられているかどうかについては疑問符を持って臨まなくてはならないなと思っています。

大変かもしれないけれど、よりたくさんの人々の意見を集約すること。その努力を放棄してはならないと思うんです。

その後、町内会の一員として一緒に活動してもらえたうれしいですが、まずはイベントに参加してもらうことが大切なではないかと思います。「町内会の会合があるから出なさいよ」では誰も出たがらないと思いますが、「夏まつりやりますよ、池田公園で楽しいことやってますよ」と広めたほうが、より私たちの団体に対して理解していただけるだけでなく、地域への愛着も湧くと思うんですよね。

野田副会長:そういった意味でも、もっと池田公園を有効的に活用していかたいですね。

田端会長:そうですね。コロナ禍においては、保健所からご要望で池田公園をPCR検査の場として貸し出しました。テントを張って大々的に行われましたが、その時も、住民の方々のお人柄だな、ご理解の賜物だなと思い、とても感激いたしました。行政と地域が連携することで、さまざまな課題を乗り越えていきたいですね。

また、栄東という地域を俯瞰して見てみると、久屋大通が壁になっていて、栄地域と栄東地域とが分断されているような形になっています。今後、久屋大通公園の南エリア（錦通から若宮大通まで）が再整備されることで、人の流れが栄東の方にまで来るようになります。

また、コロナが収まることでインバウンドの方もみえるでしょうし、2026年に開催されるアジア競技大会を契機に海外からの観光客もずいぶん増えると思います。

栄から、名古屋を元気にする！そういう気持ちで取り組んでいきたいですね。

栄東という地域は、外国の方向けのサポートも手厚いですかね。無料の多言語相談を通じて、日本の暮らしに関する様々なお悩みを聞く窓口を地域で設けています。**多様な価値観を受け入れる街、多様な人々が共生できる街として**、地域の皆さんと歩んでいけたらと思います。

野田副会長:そうですね。これらを栄東だけの問題として捉えるのではなく、栄エリア全体として考えることで、地域が一つになって頑張りたいですね。いろいろな団体や企業とコラボするのもおもしろそうです。私たちだけでなく、大勢を巻き込みながら、栄を、名古屋を盛り上げていく活動ができたらいですね。最終的には、この地域の人にとっては「この街で暮らせて幸せだな」と、観光客の方には「また遊びに来たいな、あったかい街だな」と思っていただけるような地域にしていきたいと思います。

加藤副会長:栄の街は、ここ数年で大きく変化するでしょう。交通網も変わり、通信やネット環境も整うことで、次の世代への交代が起り始めると思うんです。すると、今までの地域活動の形も、もしかしたら根底から変わってくるかもしれません。そういう意味で、この街というのは、新しいことへの実験場、新たな取り組みへの先駆者になっていく場所だなと思うんです。

例えばコロナ禍で在宅ワークが普及したように、まちづくりにもそういう新しい要素を取り入れていく。それを受け入れられるように組織自体も変革していくことも大切なこと。未来に対して恐れずに変化していく、未来志向が求められるのではないかなと思います。

田端会長:いつまでも輝き続ける栄東のために、私たちも三位一体となって地域を盛り上げていきましょう。

